

令和4年度

教材教具名	いたづらボード	分類	Stage I	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	操作
ねらい	・ 手指の巧緻性を高める。			

### 教材教具の概要



使用方法	・ 音を鳴らす、光を付けるなど指先を使って操作する。
材料	
工夫点	・ 操作したことで視覚的にわかりやすい道具を設置した。 ・ 取り外しても遊べるように一部の教材を面ファスナーで固定した。

使ってみてよかったところ、効果等

教材教具名	プットイン	分類	Stage I	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指の巧緻性を高める。</li> </ul>			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボタンを箱に入れる。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タッパー、ボタン、ゴム</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボタンにゴムがついていることで、誤飲の危険なくプットインができるようにした。</li> <li>・ 布が動いて穴に入れにくい状況がなくなるので、ボタン掛けの前段階として取り組める。</li> </ul>

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 始めはボタンを縦にすることが難しかった児童には、立てた状態で穴に入れる部分だけやっていたが、徐々に自分でボタンを縦にして穴に入れることができるようになった。

教材教具名	ボタン留め練習	分類	Stage I 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボタンを留めることができる。</li> </ul>			

教材教具の概要



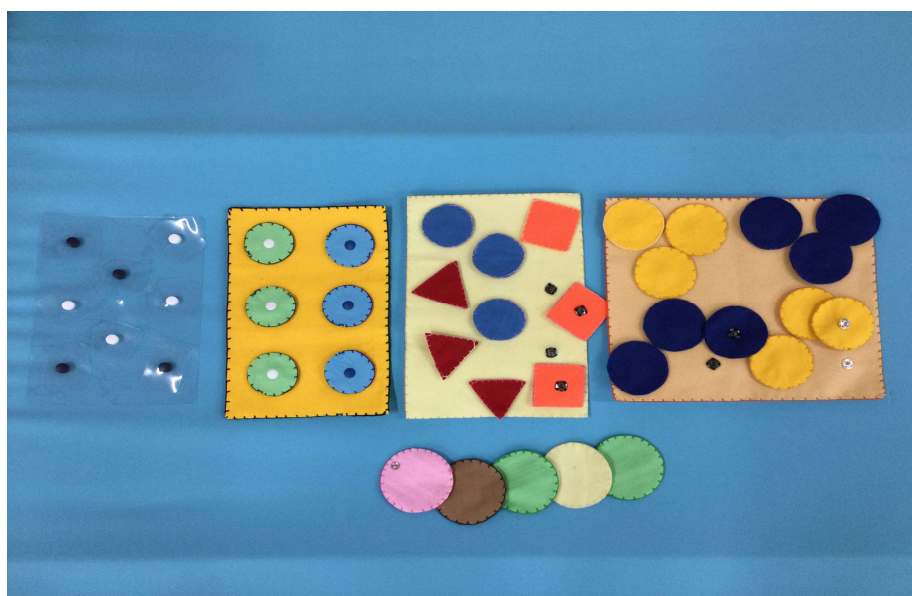
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3cm → 2.5cm → 2cm → 1.5cm と徐々に小さいボタンに取り組んでいく。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェルト、ボタン、刺繍糸</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きなボタンから始め、徐々に小さくしていった。</li> <li>・ いろいろなサイズのボタンをつけることで、簡単な物の中に難しいサイズを混ぜた。</li> </ul>

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 徐々に小さくすることで、拒否感が少なく取り組むことができた。

教材教具名	スナップボタンの練習	分類	Stage I	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スナップボタンを留めることができる。</li> <li>・ 同じ色のスナップボタンを留めることができる。</li> </ul>			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスナップ(透明)→プラスナップ(フェルト)→スナップボタン(フェルト)と進めていく。</li> <li>・ どこを合わせると良いのかを確認しながら取り組む。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリアソフトケース、プラスナップ、フェルト、スナップボタン、刺繍糸</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合わせる部分が分かりやすいようにクリアケースを使用した。</li> <li>・ 第2段階としてフェルトにプラスナップをつけることで、合わせる部分を分かりやすくした。</li> </ul>

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 何をするのが視覚的に分かりやすく、一人で取り組めるようになった。

教材教具名	ボルトナット	分類	Stage II 操作		
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	数学	個別課題
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指の巧緻性を高める。</li> <li>・ 手元を見る。</li> <li>・ 作業の報告が出来る。</li> </ul>				

#### 教材教具の概要



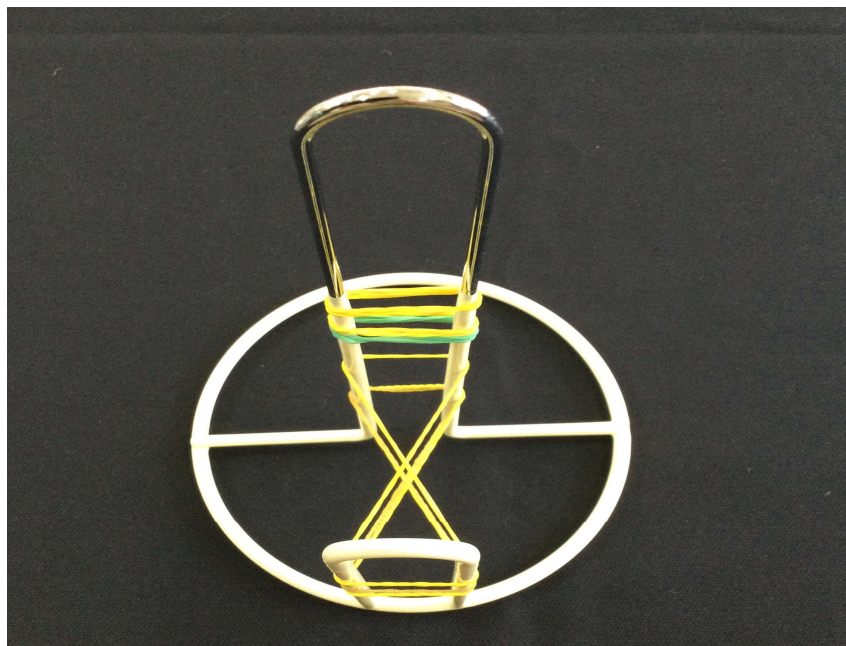
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボルトナットを、向きに気を付けながら、順番に取り付けていく。</li> <li>・ 板一枚できたら、報告をする。</li> <li>・ ボルトナットの準備を作業として行うこともできる。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボルトナット、不要になった木材</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボルトの大きさに合わせて穴をあけた。</li> <li>・ 生徒が分かりやすい穴の数にした。</li> <li>・ あえて重みのある板を用いた。</li> </ul>

#### 使ってみてよかったところ、効果等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒に始点、終点が分かりやすい。</li> <li>・ 使い方によって、課題学習でも使用できるし、校内実習でも数を用意すれば使うことが出来る。</li> </ul>
---

教材教具名	目指せ輪ゴム名人	分類	Stage II 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	中学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>手を返して輪ゴムをねじることができる。</li> <li>片手で物を固定して利き手で輪ゴムを二重にかけることができる。</li> </ul>			

教材教具の概要



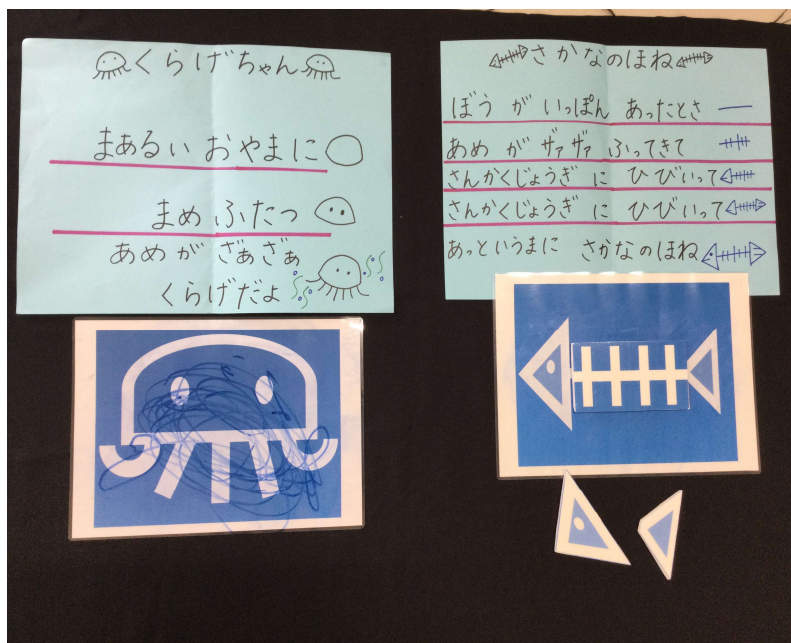
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>長い突起に輪ゴムを掛け一度ねじった輪ゴムを短い突起にかける。</li> <li>短い突起にかかっている輪ゴムを外して長い突起にかける。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッチンペーパーホルダー</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪ゴムを掛けるところがゴムになっていて輪ゴムが外れづらくなっている。</li> </ul>

使ってみてよかったところ、効果等

<ul style="list-style-type: none"> <li>自立するので学習の導入としてはとてもわかりやすかった。</li> <li>輪ゴムが外れずにかけることができるのでモチベーションの向上に繋がった。</li> </ul>
--

教材教具名	絵描き歌	分類	Stage II	
		対象授業等 (内容) (学部)	音楽	操作 小学部
ねらい	・ 音楽を聴きながら、イラストを描いたり貼ったりする。			

教材教具の概要



使用方法	・ 曲に合わせてイラストが描いてある用紙(見本)にホワイトボードペンでなぞったり、イラストのパーツごとのパネルを貼ったりする。
材料	・ イラストが描かれた用紙、ホワイトボードペン、貼りパネル
工夫点	・ イラストは、ペンでなぞれるように線を太く設定している。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 描くものに注目できるようになった。

教材教具名	ビーズ通し	分類	Stage III-1 操作	
		対象授業等 (内容) (学部)	個別課題	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指の巧緻性を高める。</li> </ul>			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モールにビーズを通す。</li> <li>・ ステップアップでビーズのサイズを変えたり、手本通りに通す。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラミネートしたキャラクター、モール、ビーズ</li> </ul>
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テグスではなくモールにしたことで、ビーズを一人でも通すことができるようにした。</li> <li>・ キャラクターのネックレスを作ってあげるという設定にすることで意欲を引き出せるようにした。</li> </ul>

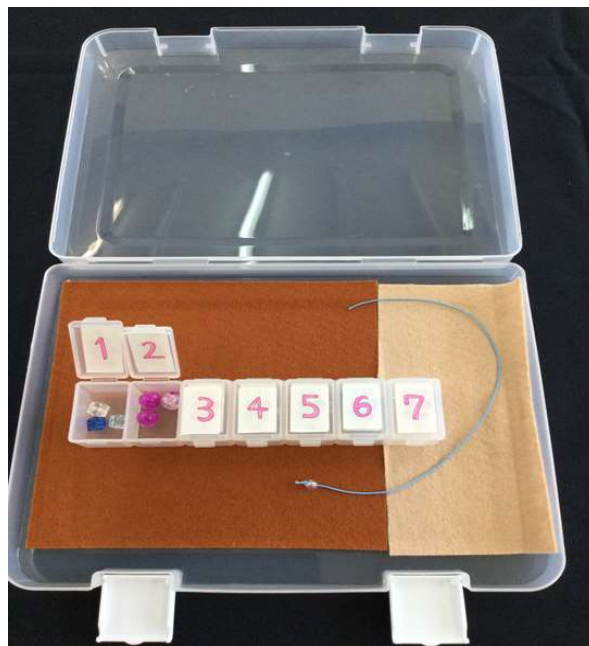
使ってみてよかったところ、効果等

- ・ はじめテグスでは難しかった子どもも、モールがビーズを滑るのを止めてくれるおかげで一人で取り組めるようになった。
- ・ 子どもが好きなキャラクターやネックレスという設定でモチベーションが上がった。



教材教具名	順番ビーズ通し	分類	Stage III-1 操作		
		対象授業等 (内容) (学部)	国語	数学	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指の巧緻性を高める。</li> <li>・ ビーズを順番に通すことで、作品を完成させる。</li> </ul>				

教材教具の概要



使用方法	・ 数字が書かれた順番に薬ケースからビーズを出し、通す。
材料	・ ビーズ、プラスチックケース、フェルト、ピルケース、糸
工夫点	・ ビーズをつまみやすくするため、ケースの底にフェルトを貼った。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 数字は順番に並べられない生徒だが、「順番」がわかるので、自立課題として取り組むことができた。
- ・ フェルトを貼ったことにより、ビーズをつまみやすくなり、生徒のイライラが減った。